



光 和

1月号
練馬区立光和小学校
平成31年1月8日
校長 城崎 真



頼もしい成長！一年生！

小学校へ期待と胸を膨らませて入学してきて、早いもので九ヶ月が経ちました。いつの間にか自分でできることが増え、学校生活を生き生きと過ごしています。スタートカリキュラムから始まった一学期は、学校を探検し、先生の名前や教室の場所など、学校のことが分かり、学校に少しずつ慣れてきました。二学期は、運動会や音楽会等の大きな学校行事を通して、みんな力を合わせて取り組むことと、そして、成功させることの達成感を味わいました。また、日々の教科等の学習では、友達と関わりながら、考えた工夫したりする力が身に付いてきています。

☆生活科の学習（秋探し）

十一月には、「みんなであそぼうよ！あき」の学習で、秋



幼保小交流の様子

の季節を楽しむ学習をしました。この学習では、校庭や公園で秋を探したり、秋の豊かな実りを取り入れて遊びを創り出したりします。この活動では、季節の違いや特徴を見付けたり、自分たちで作ったものを使って友達や幼児と交流したりし、自分の生活を楽しくすることが大切です。

まず、校庭や石神井公園で秋探しをしました。夏の違いを感じ、「綺麗な葉っぱが落ちている。」「どんぐりがたくさん落ちている。」など、秋の自然の美しさに気付きました。そして、見付けた木の実や木の葉などをたくさん拾ってきました。拾ってきたものから「どんなことをしたい？」と聞いたところ、「どんぐりごまを作りたい。」「どんぐりペンダントを作りたい。」など、「秋の宝」を生かして遊ぶ物や飾る物にしたという意見が出ました。どんぐりや松ぼっくりで「転がる」「はじく」などの素材遊びを通して見付けたことを生かし、友達と関わりながら作ったり遊んだりしていく中で、秋祭りのお店を開くこ

とにしました。お店のお客さんは、近隣の幼稚園・保育園の年長さんです。

☆生活科の学習（幼保小交流）

幼保小交流のめあては、子供たちと一緒に考えた「自分たちが秋を楽しむこと。」「年長さんにも秋の楽しさを伝えること。」「に決まり、準備を進めていきました。」「年長さんにも分かるようにルールを考える。」「喜んでもらいたいから、景品を作る。」など、幼児の目線に立って考えるようになりました。交流当日には、お兄さん・お姉さんらしく、幼児に優しく接している姿がたくさん見られました。この学習を通して、「秋を探したり、秋で遊んだりして秋が前よりも好きになった。」と、秋のよさを感じ、振り返っている児童も数多くいました。

二月には、二回目の幼保小交流があります。活動内容は、校内を案内したり一緒に遊んだりして、学校のことを進んで幼児に伝え、楽しく交流することです。今回の交流を生かして、さらにお兄さん・お姉さんとして振る舞い、来年の「一年生」と関わるよい機会となるようにしていきたいと思えます。

（二年担任 平良 英里）

四季折々

校長 城崎 真

「校長の責務」

「校長先生って、何やってるんですか？」という質問を子供から受けることがあります。また、娘の嫁ぎ先のお母様のイメージは、校長室でお茶を飲んでいて、学校の植物に水をあげている人と話していたそうです。一昔前はそうだったかもしれませんが、私も教員になるまでは同じように思っていました。校長の仕事は、「人・物・金」と約されることがあります。人は、人事を含めた所属職員の管理。物は、施設を含めた物品管理。金は、学校徴収金を含めた学校予算等の管理を意味します。実際は、これに教育課程の管理、児童の管理、その他学校運営に関する管理が加わります。つまり、学校に関すること全ての管理監督者というわけです。

昨今、学校教育に対する風当たり（期待？）が強く、様々なことが学校に求められます。理数教育の充実、外国語授業時数の追加、道徳の教科化、オリパラ教育、ICT教育、特別支援教育、小中一貫教育、保幼小の連携、理不尽な要求及びクレーマー対応、…。先生方は基本まじめなので、一生懸命頑張って取り組んでいます。近年、体調を崩す教員が後を絶たないのも頷けます。

校長の責務として、所属職員の管理があります。管理は、職務上の管理とともに、学校衛生責任者としての健康管理も含まれています。学校職員の健康を守る責務があるので

す。

学校職員の一つの仕事に、給食費と教材費の取扱いがあります。光和小は、給食費をPTAが手集金していたために、未納ゼロという輝かしい実績を誇っていました。しかし、学校徴収金制度の改定により、それができなくなり、それに伴う事務作業が増えました。教材費が揃わないと、業者への支払いができません。立て替えは許されていないので、業者への支払いを待ってもらうしかありません。しかし、業者への支払いの遅延は、服務事故として指導・処罰の対象になります。このような状況をご理解いただき、集金や行事等の見直しへのご理解・ご協力をお願いいたします。

（二〇一九年 一月）